

2025 年 9 月 8 日
出光タンカー株式会社

新造環境対応 VLCC（大型原油タンカー）を「NISSHO MARU(日章丸)」と命名 ～日章丸生誕 100 年～

出光タンカー株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：稲垣 富生、以下「当社」)は、2028 年竣工予定の環境対応 VLCC2 隻のうち 1 隻を「日章丸(NISSHO MARU)」と命名することを決定しました。

1938 年の初代「日章丸（1 世）」竣工以来、当社は 5 代にわたる大型原油タンカー「日章丸」を建造・運航してきました。6 代目となる本船は、初代竣工から 100 年に向け、当社の歴史と伝統を継承しながら、次世代の環境性能も備えたフラッグシップとして就航いたします。

本船は最新鋭の技術を搭載した環境対応 VLCC となります。当社は今後も、長き歴史で培われた先見性と専門性を発揮し、持続可能なエネルギー輸送を切り拓くと共に、カーボンニュートラル（CN）・循環型社会の実現に貢献してまいります。

■環境対応 VLCC の特長

- **メタノールおよび重油を燃料として使用できる二元燃料主機を採用**
メタノールを使用することで、重油と比較し、窒素 酸化物（NO_x）最大約 80%、硫黄酸化物（SO_x）最大約 99%、二酸化炭素（CO₂）最大約 15%の排出削減が可能。
- **航行中のプロペラ軸の回転を利用して電力を供給する軸発電機を搭載**
船内の発電機で使用する燃料消費量を減らし、CO₂ 排出量の削減が可能。
- **VLCC では世界初*となる風力推進補助装置「ローターセイル」を搭載**
船舶の推進力を補助するために使用される風力推進装置。風力推進による燃料消費量の削減、燃料消費量削減に伴う CO₂ などの温室効果ガス排出量削減、風力を利用することによるエンジン負荷軽減とエネルギー効率向上を実現。
※当社調べ（2025 年 4 月時点）

■日章丸のこれまでの歴史

- 1938 年竣工 日章丸 1 世（初代）
- 1951 年竣工 日章丸 2 世
1953 年 イランからの石油積み取りで世界を沸かせる（日章丸事件）
- 1962 年竣工 日章丸 3 世（当時世界最大）

- ・1981年竣工 日章丸4世
- ・2004年竣工 日章丸5世
- ・2028年竣工予定 日章丸6世（本船 環境対応 VLCC）

■日章丸6世の概要

全長	最大 339.5m
型幅	60.0m
型深	28.6m
満載喫水	21.0m
満載載貨重量	約 309,400 トン
燃料	メタノールおよび重油
その他	大型軸発電機搭載 風力推進補助装置「ローターセイル」2本搭載



環境対応 VLCC イメージ

【参考】

出光興産株式会社 プレスリリース：

当社初、環境対応 VLCC（大型原油タンカー）2隻の建造を決定（2025年4月24日）

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2025/250424.pdf>

～お問い合わせ先～

出光タンカー株式会社 業務部 事業戦略企画課

URL：https://www.idemitsu.com/jp/contact/group_flow/index.html